

はじめに

本校は、「誰一人取り残さず、すべての子供達の可能性を引き出すきめ細やかな教育」と「自立と社会参加の実現」を目指していく。従って、私達学校スタッフは、鹿本学園としての揺るぎない伝統を継承しつつ、新しい教育に向け、改革・改善を推進していく。そのため、「Change：変化への対応・踏襲にとられない柔軟性」「Challenge：創造性を豊かにした新しい挑戦」「Connect：地域等とつなぐ・つながる」をスローガンとして様々な教育活動にあたる。

また「子供達の学びを支える学校スタッフや学校の組織力」の強化のために、学校スタッフが元気になる取組、より「ウェルビーイング」な状態になるため教員の働き方やライフ・ワーク・バランスの推進を一層努めていく。

I 目指す学校

都民に信頼される教育活動を基盤として、個々の障害の状態等に応じた専門的な教育を行うことにより、生きる力を養い、分かる力を高め、地域社会の一員として主体的に社会参加・自立し、共生社会実現に向けて、生涯にわたり心豊かに生きていく人材を育成する学校

【校訓 “向学虹輝”】

いくつもの色が連なって輝く虹となるように、児童・生徒一人一人がその個性を発揮し、輝かしい未来を掴む為に日々の学びと真剣に向き合う”その積み重ねを大切にする。

【教育目標】

児童・生徒一人一人の人権を尊重し、個々の障害の特性に応じた教育を推進するとともに、豊かな人間性や社会性をはぐくみ、自立し社会参加できる児童・生徒を育成する。

- (1) 基本的な生活習慣を養い、健康で豊かな心と身体をつくる。
- (2) 豊かな感性と、自分を表現する力を育てる。
- (3) 自ら考える力、学ぶ意欲を育てる。
- (4) 社会参加・自立に向けて生活する力を養い、働く意欲を育てる。
- (5) 仲間を思いやり、ともに活動する力を育てる。

II 学校スタッフの行動指針（学校スタッフ：教員、養護教諭、学校介護職員、学校看護師、企画室職員、栄養士等の総称）

目指す学校の実現のために私達は、児童生徒・保護者・地域・都民の信頼のもと

- 児童・生徒を第一とし、個々の人格と個性を尊重しながら、児童・生徒の自己決定や自立を支援します。
- 学校スタッフは、各々の専門職として常にキャリア及びスキルアップを図り、社会・教育・医療等の変化に柔軟に対応し、きめ細やかな教育を展開します。
- 児童・生徒や保護者のニーズを受け止め、社会や地域と連携を図りながら、切れ目のないトータルな生活を目指す教育・支援を充実させます。
- 学校スタッフが、風通しの良い、楽しく働ける環境づくりと働き方改革を推進します。
- 一人一人が教育公務員としての責任を自覚し、道徳や社会規範に基づき行動します。

III 中期的目標と方策

1 児童・生徒一人一人の生活や可能性を拓げる多様な学びの充実

- (1) 評価の三観点を取り入れた授業計画の再構築（年間指導計画・指導案）
- (2) 「根拠・基本・安全」を踏まえた系統性のある行事活動の確立（校外学習・宿泊学習）
- (3) 豊かな心と健やかな体を育むための芸術・障害スポーツ教育の推進
- (4) 教育活動全般において実施する横断的な自立活動・言語活動の充実

2 デジタルとリアル（アナログ）の推進（学びの充実）

- (1) デジタルの活用やICTの利活用等による教育及び環境整備の充実
- (2) 子供達の実体験や経験及び紙や教材等とデジタルの活用のバランスを重視した教育活動の強化

3 自ら学び続ける学校スタッフの育成

- (1) 人権や人権擁護等の知識を深め、個々の児童・生徒の実態及び人権に配慮した教育の徹底
- (2) 外部専門員と連携し、教員自身が継続的に新しい知識や技能を学び続けていく校内研修システムの確立
- (3) 近隣の学校及び特別支援学校との学びあいによる継続的な授業改善
- (4) 組織的な人材育成や管理職候補者の発掘・育成の推進

4 切れ目のないトータルな支援体制の構築

- (1) 個々に応じた学びと自己の将来とのつながりを見通しながら、必要な力を育むキャリア教育の確立
- (2) 子供達が利用する様々な事業所・関係機関との連携の充実
- (3) 生活全般への包括的なサポートやケア及び相談機能の充実と医療等(医療的ケア含む)の連携の充実

5 地域とつなぐ・つながる特別支援教育の推進

- (1) 地域・社会資源を生かした新しい教育活動の確立
- (2) センター機能の発揮及び江戸川区の特別支援学級との連携の強化
- (3) 特別支援教育の理解推進及び特別支援教育に携わる方のための研修の充実

6 安心・安全・健康を追求する組織体制・整備の確立

- (1) 地域と連携し、想定外の自然災害、首都直下地震等に確実に対応できる防災体制・整備の構築。
- (2) 学校スタッフの安全配慮義務及び危機管理への意識向上と学校危機管理体制の強化
- (3) 個々に応じた児童・生徒の心や身体健康教育及び食育の推進
- (4) 産業医等と連携した学校スタッフの心身の健康管理の推進(助け合える学校づくり)

7 適正かつ効率的な学校経営及び働き方改革の推進

- (1) 教育公務員としての高いモラル意識と風通しの良い学校風土の醸成
- (2) デジタルを活用し校務支援の効率化を図り、教職員のライフ・ワーク・バランスを推進する
- (3) 経営企画室と学校スタッフの連携強化及び経営企画室の学校経営参画の推進

IV 今年度の取組目標と方策 (S=肢体不自由教育部門、N=知的障害教育部門)

I 重点目標と方策

(1) デジタルとリアル(アナログ)の推進(学びの充実)

数値目標 「デジタル教材を活用した取組はっていると感じますか」 $\geq 90\%$

- ・学習/タブレット端末・スイッチ・視線入力等の積極的な活用・実践例の発信(鹿本の学び)
実体験・経験を重視した学習・行事の推進(動物ふれあい・芸術鑑賞)
- ・研修/デジタルサポーターと連携し知識・スキルの習得

(2) 切れ目のないトータルな支援体制の構築

数値目標 「卒業後を見据えたキャリア教育は行われている。

進路の情報発信は適切である $\geq 90\%$

- ・進路/江戸川区・葛飾区との説明会の実施・高等部卒業を意識した進路指導の確立(N)
- ・将来像を見据えた計画的な一般就労及び福祉就労の充実(S)・進路情報の積極的な発信

(3) 地域とつなぐ・つながる特別支援教育の推進

数値目標 「地域との交流は充実している」 $\geq 95\%$

- ・特色化/併置型学園としての特色ある教育活動の充実・発信
- ・部門交流/併置型学園としての特色ある教育活動の継続・発展(学園内交流教育他)
- ・地域連携/地域共生社会への参画(広報活動、親和性を高める催し、地域支援による関係性強化)

(4) 安心・安全・健康を追求する組織体制・整備の確立

数値目標 「地域や学校の実態に応じた防災体制の向上」 $\geq 95\%$ パーセント

- ・想定外を想定内にするために防災教育・体制の確立・災害時の円滑かつ機能的な備蓄品の整備及び配備
- ・福祉避難所の設営・運営も含めた避難の在り方の再構築

(5) 適正かつ効率的な学校経営及び働き方改革の推進

数値目標 「勤務外在校時間45時間に向けた教員の意識変容」 $\geq 90\%$

- 働き方改革/組織的・効率的な業務改善の推進、ライフ・ワーク・バランスの意識向上
- 業務改善/ICT機器、デジタル技術を積極的に活用した合理的・効率的な業務遂行
- 週案を活用した、業務量の配置人数の適正を検証

2 目標と方策

<人権教育>

- ① 児童・生徒への呼名及び言葉がけの意識化の徹底
- ② 不適切な言動・学習内容及び体罰ゼロ

<学習指導>

教育課程の充実

- ① 児童・生徒の実態に即した系統性のある指導計画の再構築（年間指導計画）
- ② 計画と評価の共有の基づく指導の充実・改善（学級計画、個別指導計画、通知表）
- ③ 時間割の進行管理と検証及び改善（29 コマ）

授業力の向上 - 個に応じた学習指導の充実 -

- ④ 全ての教育活動でのICT（タブレット・パソコン・視線入力装置・スイッチ等）の利活用
- ⑤ 評価の三観点を取り入れた授業づくりの推進
- ⑥ 児童・生徒がわかりやすい教室環境の整備及び動線の確立
- ⑦ 外部専門員や校内研修及び研究授業を活用した授業改善の充実・言語能力の向上と読書支援の推進
- ⑧ 読書活動（読み聞かせ、調べ学習）の推進・充実と図書館運営の改善・効率化と積極的な情報発信

<生活指導>

安全・安心な学校生活を送れる生活指導体制の構築

- ① 通学安全／通学環境の整備（SB 発着体制、送迎車両対応、一人通学指導ステップ、通学路点検）
- ② 避難訓練／外部評価を活用し、児童・生徒の実態に応じた、より現実的な避難訓練への改善
- ③ 防災訓練・引き渡し訓練／障害特性を踏まえた訓練の実施校内体制の改善・福祉避難所の設営
- ④ 施設安全／施設・設備利用に関する安全な利用方法の徹底（迷子・けがの防止、安全表示）
- ⑤ 事故防止／事例に基づく再発防止策の徹底（事故原因の分析・共有、再発防止訓練）
いじめ・体罰の禁止根絶と生命尊重教育の推進
- ⑥ 人権教育の推進とアンケートによるいじめの未然防止と体罰の禁止・根絶の徹底
- ⑦ 「SOSの出し方教育」等、都教委作成指導資料の活用、児童・生徒への相談先の周知

<進路指導・キャリア教育>

両部門卒業後を見据えた指導計画の改善・充実・発信

- ① キャリア発達の視点を重視した学習活動の展開と教職員のキャリア教育に関する意識醸成（進路学習）
- ② 各種検定試験や資格試験等への取り組みの積極的な推進
- ③ 学部毎のゴールを明確にしたキャリア教育の推進（進路説明会、キャリア教育）
- ④ 進学及び卒業後の社会参加を見据えた進路学習及び保護者支援の充実（進路先体験、現場実習、受験対策）

<特別活動・部活動>

感染症対策を含めた安全な実施 と 新たなノウハウの蓄積による活動の充実

- ① 全校行事や宿泊行事、校外学習の再検証及び体験を重視した活動の充実
- ② 適正な活動計画に基づく部活動の充実及び外部専門員と連携した新しいと、各種大会への参加の推進
- ③ 近隣の学校や関係機関と連携した活動の推進（交流学习、主権者教育 他）
- ④ 副籍交流の円滑な推進（一学期からの直接交流の推進）

<保健・給食>

組織的な保健体制による健康管理 と 安全で美味しい給食の提供と指導

- ① 健康管理や健康診断、カウンセリング等各種相談の適切な実施
- ② 養護教諭、教員、学校介護職員、看護師の円滑な連携による保健室機能の充実
- ③ 都方針に基づく安心・安全な医療的ケアの実施と各種新事業の着実な推進
- ④ 医療的ケア専用通学車両の乗車ニーズに応じた安全・円滑な対応、および医療的ケア体制の整備・充実
- ⑤ 医療的ケアに関するインシデント・アクシデント情報の周知と事故再発防止の徹底、研修実施
- ⑥ 学校介護職員を活用した医療的ケア体制の早期整備と一層の充実
- ⑦ 摂食指導の適性・円滑な実施と安全で美味しい給食の提供と楽しい給食タイムの工夫（給食体制）